

# まちかど未来塾 だより

12月( December )



	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
第1週						
	3	4	5	6	7	8
第2週			保育コーディネーター研修	親カフェ・ふらっと		
	10	11	12	13	14	15
第3週					英会話教室 10:30~12:30	
	17	18	19	20	21	22
第4週		休講	寺子屋 ○ 塾 休講	休講		
	24/31	25	26	27	28	29
第5週		開講				

\*お月謝の引き落としは17日(月)です

申し訳ないのですが、芋生が外科手術のために18日~20日は休講とさせていただきます。

\* 19日の寺子屋は開講しますので、よろしくお願いたします。

\* 25日~27日は開講します。



## Mirai Letter 70



「その子らしさを捉える」こと、「こだわりの受け止め手になる」こと

「子どもの発達障害基礎理解講座/全6回」が花小金井南公民館で行われています。第1回目は「発達障がい  
の特性と基本的配慮」~白梅学園大学の准教授/廣澤満之先生の講座でした。先生は准教授の傍ら八王子  
の住職であるといった異色を放つ、魅力的な先生です~ご自身のお子さんも出演の資料は「くすっ、」と笑  
える事例あり、そのお子さんの特性と最上級のユーモアもほど良く混じり合って、楽しめる講座でした。

書道が好きで、とても元気な字を書く先生のお子さんは、日々の何気ない会話も「書」だったりするそう  
です。

「くすっ、エピソード」~娘がパパ(=廣澤先生)に「書」で尋ねた「なんでママなの?」(のびやかな書  
体!)~演芸場ではないので、講座中、それも比較的眞面目な講座、、、笑うに笑えない、、、

「ことば」で聞いても良いのに「なぜ、書?」

先生は白梅学園大学の授業で発達障がいのある子どもたち接するうえで大切な事は「学びの視点を持つ  
ことは1/3、その子の特性を捉えることが2/3」~支援者や親たちはその「こだわりの受け止めてになる事」  
であると生徒たちに伝えているそうです。

自閉症スペクトラム障害の特性である「みんなというより一人が好き」といった捉え方には実は「向こう側  
からの視点」を知らずに特性理解をしているのでは、と「東田直樹さんの跳びはねる理由」の抜粋文から一  
石を投じました。

以下、抜粋文:「自閉」とは何か?「人と生まれてきたのに独りぼっちが好きなの人がいるなんて、僕には信じら  
れません。僕たちは気にしているんです。自分のせいで他人に迷惑をかけていないか、そのために人とい  
るのが辛くなって、つい一人になろうとすることです。僕たちだって、みんなと一緒にいいのです。だけど、いつ  
も上手にいかなくて、気が付いた時には一人で過ごすことに慣れてしまいました。」意味のない行動に意味  
を見いだせたら私たちが楽になる。「支援者や保護者はこだわりの受け止めてになる!」先生の自閉症の  
受け止め方~とてもお子さんの書の書体のように「のびやかさとしなやかさ」を感じました。(T.Imou)